

かめっ子だより No.21

令和7年5月26日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

「春のつどい」中学校区で交流を深めました

八尾市の支援教育の取組みの1つに「春のつどい」があります。東西南北4つのブロックに分かれて（亀井小は南ブロックで小中併せて11校あります）、支援学級の児童生徒が一堂に集まり、ゲームなど行い交流を深めていました。コロナ禍でしばらく途絶え、コロナ禍後は中学校区で実施されるようになりました。その「春のつどい」が21日（水）の1・2時間目に本校で行われ、竹濑小・亀井中の児童生徒が集まりました。「王様じゃんけん」「フラフープリレー」「風船バレー」をして楽しみました。特に「風船バレー」では、落としてなるものかと、みんな全力で風船に飛びついていました。中には200回以上リレーが続いたチームもあったようです。



クラブ活動が始まりました

「このトロフィー、何？」校長室に来た子が必ずする質問です。校長室の棚にはトロフィーがたくさん飾られており、子どもたちはすぐに気がつきます。これは、卒業した先輩たちがクラブ活動で活躍していたときのものです。



当時は毎週クラブ活動があり、特に運動クラブについては南ブロックで勝ち進めば、八尾市の決勝大会に出場できます。過去、野球やバレーボール、バスケットボールで優勝しました。

今は月1回の活動になっていますが、19日（月）に今年度初のクラブ活動がありました。

亀井小学校には、次のクラブがあります。

サッカー、球技、なわとび、ソフトバレー、卓球、バスケットボール、伝承遊び、クイズ、漫画、ダンス、音楽、家庭科、国際理解、百人一首、室内遊び

子どもたちにとっては、結構楽しい時間でもあります。4～6年生全員が参加するので、異学年での交流やつながりも深めて欲しいものです。

